



〈表紙写真〉

【トビイカの天日干し】
お う じ ま
(奥武島)

奥武島は、沖縄本島南部の南城市玉城と橋でつながる面積0.23km²、人口843人、世帯数288世帯（H20.7住基台帳）の小さな漁村の島です。南部のドライブスポットとしても人気があり、島を一周する道路沿いに立ち並ぶ食堂や売店では、とれたての海産物が味わえます。

奥武島の夏の風物詩といえばイカの天日干し。7～9月の晴れた日には漁港にトビイカが白いカーテンのように棚引く光景を見ることができます。また、旧暦7～9月の1日にはスクガラス漁が行われ、運がよければ水揚げされたスクガラスに出会うことができます。

島の伝統行事として旧暦5月4日に行われるハーリーでは、奥武島独特の「流れ船」や「クンケーラシー」を見ようと毎年多くの見学者が訪れ賑わいをみせます。

Muribushi

群星
【むりぶし】

C O N T E N T S

01

大臣挨拶

内閣府特命担当大臣
林 幹雄

02

大臣、副大臣及び
大臣政務官のプロフィール

内閣府特命担当大臣 林 幹雄
内閣府副大臣 宮澤 洋一
内閣府大臣政務官 松浪 健太

03

地域の目「私と沖縄」

特定非営利活動法人アクアプラネット会長
タレント 田中 律子

特集

04

総務部 沖縄総合事務局
観光振興推進本部の取組

08

総務部 アジア青年の家

仕事の窓

10

仕事の窓① 経済産業部
地域力連携拠点事業がスタート「まずは相談してください!」

12

仕事の窓② 経済産業部
癒しの島で極上のリラクゼーションを

14

仕事の窓③ 運輸部
プレジャーボート等小型船舶に対する安全キャンペーンを実施

局の動き

15

農林水産部 仲西中学校の職場体験学習生を受け入れました
農林水産部 「第1回沖縄県マンゴーコンテスト」が開催される
開発建設部 平成19年度開発建設部所管 優良業者等表彰式を開催
開発建設部 平成20年度沖縄不発弾等対策協議会を開催
運輸部 平成20年『海の月間』について
運輸部 平成20年度 陸運関係功労者 陸運事務所長表彰を開催

18

なかゆくい *シリーズ③ ～昔も今もあなたの身近にある『疏水(そすい)』～

20

内閣府だより G8科学技術大臣会合を開催

21

お知らせ

沖縄の
伝統的工芸品 #9

久米島紬 くめじま つむぎ



産地組合:
久米島紬事業協同組合
(昭和50年2月17日伝産指定)
伝統的工芸品とは
伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で経済産業大臣が指定したものをいいます。沖縄には13品目が指定されています。

URL:
<http://ogb.go.jp/move/densan/okinawaindex.htm>



紬とは、「紡織り」の略で、蚕の繭から糸を取り出し、よりをかけて丈夫な糸に仕上げて織った絹織物のことです。久米島は「紬」発祥の地とされており、その技術・技法が沖縄本島、奄美大島等を経て日本本土に伝えられ、「大島紬」や「結城紬」等として全国に伝播したといわれています。

久米島では15世紀頃には養蚕が行われるようになり、17世紀に琉球王府への貢納布として定められて以降、紬の生産が盛んになり、当時の江戸では琉球を代表する織物として大変珍重されていました。

現在でも、琉球王府時代以来の伝統を保ち、蚕から取った絹真綿を紡いだ糸を原料に、島内の山野に自生するフクギ、テカチ、ヤマモモ等の植物染料や泥といった天然素材のみによって染色し、手織りにより製織しています。また、意匠、糸括り、染め、織り等の全工程を1人の織子により丹念に行っています。

さらに、芸術的価値が高く、工芸史上重要な地位を占めていること等から平成16年には「国の重要無形文化財」として指定されました。



★本誌タイトルについて★

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昂星(すばる)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれています。